

満足度調査プレテストの実施！

LBT (Labor-based Technology) とは、グレーダーなど最低限必要な機械を使用する以外は、人力で道路整備を行う労働集約型の工法の総称です。プロジェクト開始後、地方道路の維持管理工事に関する地域住民の満足度調査を行うことになっているため、LBT の経験を有するチャムイノ県チボリ村の地域住民に対してアンケート調査のプレテストを実施し、どのような視点で彼らの満足度を確認すべきかについて検討しました。

その結果、アンケート調査の質問項目は、次のとおりになりました。

- 通行時間
- 利便性
- 通年走行性の確保
- 排水状況
- 走行後の埃の飛散状況
- 交通事故
- 農作物の運搬状況
- 地元商店の客数の変化
- 収入の変化
- LBT への参加意欲



写真上：チャムイノ県テクニシャンによる説明風景
写真下：チボリ村の地域住民が回答している様子

今回のプレテストでは、チボリ村住民（回答者数：31名）の満足度は47%でしたが（最終的には75%を目指しています）、LBT に関しては、積極的に参加したい意向が示されました。その理由として、①LBT 工事の期間中は、食料や授業料などの支払いに必要な収入が見込めること、②道路工事によって交通アクセスが改善されること、③農作物の運搬状況の改善により、同村から離れているマーケットでも妥当な価格で販売可能になることなどが挙げられました。

その他にも、LBT 施工では労働賃金よりも食料供給を優先して欲しい、雨季は農作業で多忙であることから乾季に実施したい、などの意見が出されました。これらの声は、LBT 施工の手法や実施時期を検討する上でとても参考になるものでした。本プロジェクトでは、LBT 施工に従事する地域住民の声を反映し、地域住民にとって仕事がしやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。

(RMSD モニタリング専門家/平川貴章)